

分和という新しい時代を迎えた日本。今年は実に55年ぶりに東京でオリンピック・パラリンピックが 開催されます。

この大イベントの開催を記念して特別展「山口蓬春と祭典 - 東京オリンピックー」を開催します。

東京オリンピックが開催される3年前の昭和36年(1961)、山口蓬春(1893-1971)はオリンピック 東京大会組織委員会が設置した「芸術展示特別委員会」の委員に就任しました。そして、戦後復興 からの大きな経済成長を遂げた日本でのオリンピックの成功と、日本の芸術文化の推進に貢献しまし た。東京オリンピックが開催されるこの昭和39年(1964)に、画業の絶頂期にあった蓬春に、皇居の最 高の儀式を行う宮殿松の間杉戸絵の制作という、画家としてもっとも栄誉ある仕事が依頼されます。 この杉戸絵の制作は、蓬春の画業のひとつの転換期ともいえる新しい日本画創造への道を拓き、翌 昭和40年(1965)、蓬春は栄えある文化勲章を受章することになりました。

今回の展覧会では、蓬春が長い画業の中で描いてきた作品、ならびにコレクションの中から、オリン ピックのテーマでもある「宴」「競い」「祭り」といったテーマでお楽しみいただきます。まず、「宴」のテー マでは、第3回新日展に出品され、酒杯を高々と捧げ持つ三体の埴輪を題材とした《宴》(昭和35年 [1960]、神奈川県立近代美術館蔵)とその周辺を、さらに、「花の宴」ともいうべき、《瓶花》(昭和40 年〔1965〕、当館蔵)などの気品漂う蓬春の花卉図の魅力をご紹介いたします。次に、「競い」では小 野小町、細川ガラシャなど蓬春が描いた美人の系譜を。そして、最後の「祭り」では《十二ヶ月風俗 図》(16世紀、当館蔵)より京の街の復興とともに、町衆の手によって再興された活気あふれる「祇園 祭」の姿をご覧ください。

※会期中、一部展示替えを予定しております。 ※展示作品は都合により一部変更することがあります。

山口蓬春記念館 020年

山口蓬春

東京オリンピック

次回展示のご案内 夏季企画展 山口蓬春が描く花鳥の美

会期: 2020年8月1日(土)~11月23日(月·祝)

三ヶ丘

山口蓬春記念館

三ヶ斤バス停

至横須賀













1.山口蓬春《瓶花》昭和40年 2.山口蓬春《乙女椿》昭和35年 個人蔵 3.山口蓬春模《佐竹三十六歌仙·小野小町》 神奈川県立近代美術館蔵

- 4.《十二ヶ月風俗図》より「印地打」【前期のみ】 桃山時代(16世紀) 重要文化財 5.《十二ヶ月風俗図》より「祇園祭」【前期のみ】
- 桃山時代(16世紀) 重要文化財 6.『故實叢書 鎧着用次第』明治32年
- 神奈川県立近代美術館山口蓬春文庫蔵 7.《漢瓦白馬俑》中国·後漢(1-2世紀) 8.山口蓬春模《細川夫人像》神奈川県立近代美術館蔵 9.山口蓬春《ゴルフ》小下図 昭和3年

合作絵巻「現代風俗図絵巻」より ※所蔵先の記載のないものは山口蓬春記念館蔵です。 HP http://www.hoshun.jp/

-色海岸

【交通案内】

葉山マリー

森戸海岸

https://www.facebook.com/yamaguchihoshun

〒240-0111神奈川県三浦郡葉山町一色2320 TEL:046-875-6094 FAX:046-875-6192



JR横須賀線・湘南新宿ライン「逗子駅」より京浜急行バス3番乗場、 又は京浜急行線「逗子・葉山駅」南口2番乗場より「海岸回り葉山行 (逗12)」か「海岸回り葉山福祉文化会館行(逗11)」にて約20分「三ヶ 丘・神奈川県立近代美術館前」下車徒歩2分。※専用駐車場はござい ませんので、周辺の駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。









